

「Creativity (創造性)」が社会的課題に及ぼす影響について—コミュニティダンス雑誌『*Animated*』(1997～2023年)の分析を手がかりに

堀内まゆみ (北海道大学)

1. 研究の目的

2017年に法改正された「文化芸術基本法」の前文には「文化芸術は、人々の創造性をはぐくみ(中略)心豊かな社会を形成するものであり」と書かれ、「創造性」が文化芸術を通じて育まれるものであることが示されている。同時に、学校教育、産業、都市政策、地方行政等、近年日本において「創造性」に対する役割の期待が高まっている。

文化芸術の一つであるダンスと「創造性」との関係性については、これまでワークショップ等の実践事例に即した形でさまざまな研究が進められてきた。他方、ダンスにおける「創造性」が社会においてどのような具体的貢献をし得るのか、例えば、社会的課題を解決する際に「創造性」がどのような働きをなすのかについて、探究を試みている研究は少ない。この点において、1970年代よりイギリスの社会背景と関係し合いながら発展してきた「コミュニティダンス」には、「創造性」と社会的実践の関係性を裏づける蓄積があり、これらに目を向けることには一定の意義があると考えられる。そこで本研究では、イギリスのコミュニティダンス財団 Foundation for Community Dance・People Dancing が発行する雑誌『*Animated*』の内容を分析し、コミュニティダンスにおける「創造性」と社会的課題との関係について見解を導くことを目的とする。

2. 研究の方法

専門雑誌『*Animated*』は1986年より発行され、ダンスの実践や論評、社会問題とダンスの関係の考察を含む記事を幅広く掲載し、時代ごとのコミュニティダンス文化を反映してきた。Autumn 1996から現在までに発行された各記事は2002年よりデジタル化され、Webサイト上で閲覧可能となっており、Title、Authorによる入力検索のほか、記事に索引づけされた指定の11のSubjectsによる検索や、任意のキーワード(Article Text)での記事抽出が可能である。

本研究では「Article Text」の機能を活用し、キーワードに「Creativity (創造性)」を入力することで、本文中に「Creativity」の語を含む記事269件(最終閲覧日2023年8月28日)を抽出し、その傾向を捉えた。抽出記事を、Title、Author、発行時季、Subjectsごとに一覧にした上で、「Creativity」の語を含む文中からそれぞれ「Creativity」に関わる「領域」「主体」「同列の

語」「対になる語」「形容する語」「接続している動詞」に分類し、分析を行った。

3. 分析結果

抽出記事269件のうち、11のSubjectsいずれかに索引づけされていた記事は192件であり、最も多いのは、Subject「Younger People」に索引づけられた40件である。次がSubject「International」の33件、Subject「Health and Wellbeing」の30件、Subject「Disability」の28件であることがわかった。

次に、出現する「Creativity」の語の数を記事ごとにカウントすると、おおよそ1つの記事内に1～2回程度出現する頻度が高かったが、最も多く出現していたのは、記事「Towards the creative class」における21回で、続いて記事「Unleashing the unwanted on the unexpected」内での17回、記事「New Victories?」内の14回であり、この上位3記事はいずれも特集テーマ「creativity and learning (創造性と学習)」を冠する『*Animated Autumn 2003*』の号に収録されていたものであるということがわかった。

また「Creativity」の語は、「confidence (自信)」「innovation (革新性)」など他の言葉と等価的に扱われている場合が多いことがわかった。特に併記が多かったのは「art (芸術)」「expression (表現)」「imagination (想像力)」そして「energy (エネルギー)」「movement (動き)」といった語であった。また同時に「skill (技術)」という語とは対の関係として使用されていることも明らかになった。

4. 結論

以上の分析結果より、雑誌『*Animated*』において「Creativity」の語は、教育分野を中心にダンス実践の“指導的状況”において頻繁に使用されているという特徴が明らかになった。

加えて、「自信」「革新性」「想像力」など、人の内面の昂揚感や自己実現に働きかけ、かつ幅広い社会教育機能と相関関係を持ちながら社会的課題と連動するということがわかった。また「芸術」「エネルギー」や「動き」との関連性、「技術」と対になる概念の重視は、「Creativity」の語のダンス特有の脈絡と関係があると考えられ、これらは間接的に社会的課題に関与していることが明らかになった。